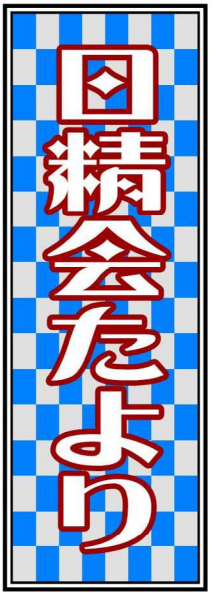


# 念願のGGコンペ、日光にて開催！

栃木県高齢・退職者団体連合 結成20周年記念



古河日光退職者の会  
日精会  
発行責任者 日野亮治  
編集責任者 石川誓一

高退連の第一回グラウンドゴルフ大会が、9月24日(水)日光市大谷川グリーンパークで開催された。これは、高退連幹事の日野日精会会長が抱いていた思いが、結成20周年記念事業の一環として実現したもの。



上は、これから競技に臨む皆さん。  
参加団体8、総勢75名(男性54・女性21)  
左は、豚汁でおもてなしをした日精会女性部員ら。



322名  
10月現在  
会員状況

記念の大会は、県内各地から多くの選手が参加し、盛会裏に終了した。

日精会は実行委員会を組織して、企画から運営までを携わり、一方、競技参加者は31名の多きを数えた。当日は10名のスタッフが早朝から活動して、開催地元としての重責を果たすことが出来た。

女性部が、心を込めた「豚汁」でおもてなしをしてあげ、皆さんからは美味しいとの好評を博した。一同、肩の荷を下ろした次第。これは、発足間もない女性部にとって、初体験の大きなイベントであったが、後日、三浦高退連会長から改めて感謝の意が届けられた。

また、高齢者の競技であることを考慮して、今市消防署には「緊急事態」へ備えていただいた。

成績は男女それぞれ、下表に示すような結果で、上位入賞者には、オリンピックさながら、金銀銅を模したメダルが授与された。

上位を日精会が席巻(全体10位以内)に7名もいたことで、さすが、一日の長がありますね。とは高退連本部の弁。まアしかし、ここはかなり

## 本部の動向

- ◎9月3日(水) 高退連本部：GG記念大会実施計画打合(日野会長・篠原副会長) ◎10月7日(火) 古河グループ労連日光地区支部定期大会(日野会長)
- ◎役員会議 8月18日・9月16日・10月8日
- ◎トピックス 10月30～31日の泊旅行(寺泊方面)は、参加者少数にて中止に。温泉一泊新年会(世界遺産の富岡製糸場と近郊の温泉地)を2月上旬中旬で計画中



## ご案内 日精会女性部交流会

12月13日(土) 10:30 集合場所：田母沢御用邸

和久KOTOアンサンブル

女性部員には一部を補助します。男性会員も、どうぞお出かけを。

出欠の締め切りは11月30日(日) 詳しくは荒川まで。

## 大会成績

順位	名前	所属	スコア	順位	名前	所属	スコア
優勝	鷹嘴 仁	(日精会)	60	優勝	山本千恵子	(日精会)	72
準優勝	茂呂 梯造	(日精会)	78	準優勝	高賀 茂サト	(NTT)	85
第3位	加藤 則男	(日精会)	78	第3位	佐々木 満子	(日産)	88
第4位	林 亮	(日精会)	81	第4位	笠原 廣子	(NTT)	89
第5位	大場 恒夫	(全たばこ)	83	第5位	渡辺 美智子	(日産)	93
第6位	篠原 勝男	(日精会)	83	第6位	金沢 美代子	(日産)	93
第7位	相田 忠男	(日産)	83	第7位	加藤 静江	(日精会)	96
第8位	増瀨 秋夫	(日精会)	84	第8位	岡戸 陽子	(NTT)	97
第9位	小島 正紀	(日産)	88	第9位	篠原 悦子	(日精会)	98
第10位	日野 亮治	(日精会)	88	第10位	中山 志津子	(日精会)	100

なお、「この度の「広島土砂災害」に関し、会場で支援募金を行なった結果、総額1万4千701円の善意を高退連にお渡し出来た。

## わらくいけ

芭蕉の秀句「秋深き隣は何をするひとぞ」は最晩年の作だけに、いささか寂寥感が漂う。でも、なぜか飄々・ほのぼの等と感ずるから不思議。受け手の心情に沿ったのだろう。俳聖と崇められるわけだ。◆先月、御嶽山の噴火で、死者と行方不明者計63名という戦後最大の惨事に。もちろん、脱出成功の方々は居たわけで、なんと、日光市民が含まれていた。それどころか、スリッパル変更のお陰で、危うく難を逃れた日精会会員も居たと聞いて、驚きは倍加だ。◆本来、他人様を一々、詮索などほしくないのだが、事故なり事件が余りに身近な感じだと、気を回すし、心配が先立つ。ひるがえって、わが身の無事にホッと胸をなでおろすのは、大方の立場だろう。◆ところが、関心が高じて聞かかじる。拳句、口さがない人となり下がり、悪口を振りまくなどは甚だ見苦しくいただけない。「物言えは唇寒し秋の風」も芭蕉の句で、彼自ら座右の銘。前段で「人の短を言うことなかれ、己が長を説くことなかれ」と口を開けば秋冷の風が唇に触れ、寒々とした気分になることから、人の悪口を言えば後味の悪い思いをするし、余計なことを言っただけに災いを招くぞと云うこと。絶句。但し一言。高齢者に厳しい消費税が今後どうなるかは、大いなる注視点だ。目が離せない(S・I)